

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	2,373	2,948	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	33	28	ヘルパンギーナ	2	2
咽頭結膜熱	22	23	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	49	48
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	79	83	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	598	608	流行性角結膜炎 (はやり目)	16	18
水痘	59	87	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1	5	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	6	5	マイコプラズマ肺炎	3	5
突発性発しん	33	28	クラミジア肺炎	0	1

報告が多い
感染症

- ✦ インフルエンザ
- ✦ 感染性胃腸炎
- ✦ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

●インフルエンザは、報告数 2,373件(前週報告数 2,948件)と減少。地区別では、有明、宇城、山鹿に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の 381件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

●感染性胃腸炎は、報告数 598件(前週報告数 608件)と減少。地区別では、山鹿、人吉、有明に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 101件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

●A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 79件(前週報告数 83件)と減少。地区別では、天草、人吉、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、6歳の 15件を最多に、1歳以上からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	472	3	5	35	174	29	0	5	13	0	0	12		13				1
山鹿保健所	116	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
菊池保健所	245	4	4	9	56	9	1	0	5	0	0	7		2				
阿蘇保健所	80	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	*	*				1
御船保健所	67	0	0	0	16	1	0	0	0	0	0	1	*	*				
八代保健所	238	2	1	4	45	3	0	0	2	0	0	3						
水俣保健所	89	1	2	0	17	0	0	0	0	0	0	14	*	*				
人吉保健所	192	12	0	8	66	0	0	0	2	0	0	0	*	*				
有明保健所	389	1	6	4	81	2	0	0	4	0	0	3		1				1
宇城保健所	240	3	1	4	47	5	0	1	4	0	0	5						
天草保健所	245	7	3	15	33	10	0	0	3	0	2	4						
計	2373	33	22	79	598	59	1	6	33	0	2	49	0	16	0	0	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	2373	13	35	128	155	174	187	184	143	164	138	120	381	55	74	160	97	57	52	29	27
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	33	12	7	6	5	2	1														
咽頭結膜熱	22		4	6	1	4	2	2	2												1
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	79			3	4	8	7	14	15	4	8	3	8	1	4						
感染性胃腸炎	598	4	39	101	58	52	42	41	39	19	35	29	63	12	64						
水痘	59	2	2	14	10	8	9	7	7												
手足口病	1			1																	
伝染性紅斑	6				1		3	1		1											
突発性発しん	33		21	9	3																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	2				1	1															
流行性耳下腺炎	49			4	4	7	12	7	9	3		3									
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	16						1									4	1	3	1	1	5
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	3	1	1	1																	
クラミジア肺炎	0																				


**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

インフルエンザ：熊本・山鹿・菊池・八代
人吉・有明・宇城・天草

感染性胃腸炎：山鹿・菊池・人吉・宇城

流行性耳下腺炎：水俣

インフルエンザ



県全体のインフルエンザの患者報告数は今週も減少していますが、山鹿、御船、水俣、有明、天草地域では前週より報告数が増えています。また、医療機関から提供される迅速検査の診断情報によると、徐々にB型の報告が増えています。予防法はA型でもB型でも同じです。今後も流行状況に注意し、予防に努めてください。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがいを習慣づける③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策を行いましょう。もし、かかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。